学校番号	１２０７

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術科	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術Ⅰ」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・絵画表現の基礎である「デッサン」や「絵の具の使い方」、様々な道具を使った表現方法を学び、身に付ける。
・様々な人が作った作品やモノのデザインを知ることで、より良い表現方法を考えるきっかけとする。
・一人ひとりの感じ方や捉えかたの違いに着目し、他者の感じたことや表現したかったことなどについて理解を深める。それと同時に、自分の表現へ還元をする。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や、美術文化などを理解し、そのような美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 出席状況	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術って何だろう	【鑑賞】 ・オリエンテーション 教科書を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。	○			○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品のよさを感じとり、美術の働きや文化についての理解を深めている。	学習活動の様子 ワークシート
	オリジナルファイルを作ろう	【デザイン】【鑑賞】 ・アイデアの出し方 すぐに本番に取り掛かるのではなく様々なアイデアを出してその中から良いものを模索していき、制作につなげる。 ・モノトーンの表現 色彩が無いぶん、構成やデザインそのものに工夫をし、表現をする。 ・合評 他の人がどのような表現をしているかを知り、他者への関心を深め、次回以降の制作につなげる。	○ ○ ○	○ ○	○ ○	 ○	a:制作物に対して粘り強く良いものにしようと意識しながら制作を進めることができている。 b:色彩が無い世界を構成や描き方で表現することができている。 c:マジックペンでの表現方法を工夫し、丁寧に制作している。 d:他の人の作品から様々なことを感じ取ることができている。	制作の様子 制作途中の作品 ワークシート アイデアスケッチ 作品
	デッサンの基礎	【絵画・彫刻】 ・立方体の制作 紙での立方体の作り方を学習する。 ・鉛筆の学習 鉛筆についての学習をし、鉛筆での様々な表現方法を学ぶ。 ・立方体のデッサン 光の当たる方向や光の強さの違いで面の色や机上の影の変化を感じ取る。	○ ○ ○		 ○ ○		a:鉛筆の種類やそれを使った表現方法に関心を示し、取り組もうとしている。 c:立方体の作り方を理解し制作する。 鉛筆による様々な表現を理解し、制作に生かすことができている。	ワークシート 制作途中の作品 作品

2学期	四季のイメージ	【デザイン】 ・色彩基礎 ・色彩構成 画用紙にアクリル絵の具で着色する。 四季のイメージに合うように明度・彩度・配色構成等を工夫し表現する。 ・合評 他の人がどのような表現をしているかを知り、次回以降の制作につなげる。	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○	a:四季のイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構成を練ったり、表現したりしようとしている。 b:条件や美しさなどから、形や色彩などの働きを考えて、表現の構想を練っている。 c:アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 d:他の人の作品を見て良い所を見つけることができている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品
	最先端！きらめく日本の美術	【鑑賞】 ・現代美術や現在世界で活躍している日本人アーティストの作品について紹介された中から1作品選び、表現の特徴や工夫についてまとめる。 ・同じ作品を選んだ人同士グループになりその作品について調べる。 ・班ごとに発表する。	○ ○ ○			○ ○ ○	a:現代美術や日本人アーティストに関心を持ち、意欲的にグループ活動に参加しようとしている。 d:作品の表現方法や制作工程などに理解を深め、それについて自分の意見や考察を持ち、感想を述べている。	ワークシート 鑑賞活動の様子や活動内容
	そっくり野菜	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・デッサン ・制作 石粉粘土で成形し、乾燥後削るなどして細部を作る。 アクリル絵の具で着彩をする。 ・相互鑑賞	 ○ ○ ○	 ○	 ○ ○	 ○	a:モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:表現形式の特性を生かし、形態、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 c:用具の特性を生かし、表現方法を工夫している。 d:良さや美しさ、表現の工夫などを感じ取り作品について理解を深めている。	デッサン 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品

3学期	サイコロを作ろう	【デザイン】 ・アイデアスケッチ サイコロの目の数ごとに様々な視点からアイデアを構築する。 ・制作 それぞれの面にアクリル絵の具で彩色していく。	○ ○	○ ○	 ○		a:デザインの多様な表現に関心を持ち、主体的に主題を生成して構想を練ったり、目的や計画を基に表現しようとしている。 b:想像力を働かせ、機能や美しさを意識して創造的な表現をしている。 c:道具の特性を理解し、表現方法を工夫して制作できている。	アイデアスケッチ ワークシート 制作途中の作品 作品
	はっぱを描こう	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・クロッキー ・デッサン ・着彩 アクリル絵の具での表現の幅を広げ、より実物に近く描いていく。 ・合評	○ ○ ○		○ ○ ○	 ○	a:モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 c:用具の特性を生かし、表現方法を工夫している。 d:良さや美しさ、表現の工夫などを感じ取り作品について理解を深めている。	クロッキー 制作途中の作品 作品 ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。